

2021年11月11日

各位

会社名 セグエグループ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 愛須 康之
 (コード番号: 3968 東証第一部)
 問合せ先 取締役経営管理部長 福田 泰福
 (TEL. 03-6228-3822)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年2月13日公表の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2021年12月期連結業績予想の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	919	938	675	59.20
今回修正予想 (B)	12,325	575	625	440	38.32
増減額 (B-A)	△175	△344	△313	△234	—
増減率 (%)	△1.4	△37.5	△33.4	△34.8	—
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	10,992	843	874	634	55.62
(ご参考) 前期比増減率 (%)	12.1	△31.8	△28.5	△30.6	—

(2) 修正の理由

2021年12月期の業績につきまして、システムインテグレーションビジネスは第1四半期におけるGIGAスクール案件や、構築等の役務提供を中心とするサービス販売の継続的積み上げにより好調を維持できておりますが、主力のVAD (Value Added Distributor: 他社メーカー製品を技術的付加価値と共に販社やユーザに提供する代理店のこと) ビジネスが世界的な半導体不足による機器の納期遅延の影



響を、特に第3四半期以降強く受けております。自社開発ビジネスにつきましては、開発・品質体制の強化に取り組み、2021年9月に「RevoWorks Browser」の新バージョンを発表、提供を開始し、お問い合わせを多数いただいているものの、期初予想に比べ案件の受注までに時間を要しております。

これらの結果、売上高は概ね期初予想どおりの着地となる見通しですが、売上総利益につきましては、安定的な利益確保の基盤となるVADビジネスが半導体不足による納期遅延の影響を強く受けていることに加え、第3四半期以降の円安進行による海外仕入れコストの増加が影響し、期初予想を3億円以上下回る見込みとなりました。

3つのビジネス区分の構成比としては、システムインテグレーションビジネスが期初予想より高くなっており、売上総利益率は低下しております。

継続成長に向けた、積極的な人財への投資による販売管理費の増加は概ね計画どおりではありますが、前述の売上総利益の未達により吸収しきれず、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回発表の業績予想を下回る見込みとなりました。

以上のことから、上記のとおり修正いたします。

引き続き、自社開発ビジネスにおける見込み案件の刈り取り、VADビジネスにおける納期遅延で積み上がった受注残への取組みを推進してまいります。

なお、期末の配当予想につきましては、前回発表予想から変更はございません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上